

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	地域療育システム事業		
事業担当	健康・こども部 こども家庭課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③<健康・安心・福祉力>その人らしく安心して生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	発達に課題のあるこどもとその家族	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 市民団体等】		
	目的・目標	事業の概要	
	心身の障がいや発達に課題のある子どもとその保護者が、保育所・幼稚園やその他の支援機関を活用しながら地域で生活をしています。	障がいの早期発見・早期療育のため、専門職が心身の障がいや発達に課題がある子どもの相談・生活助言等を行い、適切な支援につなげます。また、保育所・幼稚園等での受入を促進するため、巡回による園支援を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	相談延べ件数	単位	件
	説明・算定式	来所等による利用実績		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標	3,000	3,100	3,700
	実績	3,820	4,223	5,698
活動指標②	指標名	巡回訪問支援件数	単位	回
	説明・算定式	保育所・幼稚園等への巡回訪問実績		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標	700	710	770
	実績	781	719	608
成果指標①	指標名	事業所の利用人数	単位	人
	説明・算定式	民間事業所の利用実績		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標	120	140	160
	実績	167	167	151
成果指標②	指標名	保育所・幼稚園等での受入人数	単位	人
	説明・算定式	巡回等による支援を受けながら保育所・幼稚園等に通っている子どもの人数		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標	170	175	210
	実績	315	335	447
進捗状況	①：予定どおり			
	遅れている理由			
平成27年度の主な取組と成果				
幼稚園・保育所への定期的な巡回相談や園訪問を実施し、機関支援及び個別支援の充実を図ることができました。また、62の幼稚園・保育所を対象に5歳児健康診査を実施し、対象園への事後フォローを行いました。更に、母親を通じて様々な支援機関が子どもの情報を共有できる「はぐくみサポートファイル」について、未就学から小学校入学以降までの一貫した支援ができるよう普及に努めました。				
平成27年度の検証結果	A：成果があがった			

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	相談者が質の高い療育を求めていることから必要性は高く、また、相談者が幼稚園・保育所に在籍しているケースも増加していることから、巡回相談や軽度発達障害、就園後の相談ニーズが高まっています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	課題のある子どもの対応(育児)のしやすさにもつながり、子育て支援、虐待予防、親の精神障害予防の観点からも相談の有効性があるほか、早期発見、相談により、子ども自身への発達支援、二次障がい予防となります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	相談の件数や巡回相談のニーズが増加しており、専門支援スタッフの対応可能な時間が不足しています。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	民間活力の導入で相談やマンパワーの効率化が図られますが、それには民間機関が専門スタッフのいるこども発達支援室を必要時に主体的に活用できるよう働きかけ、機関自身の相談支援機能を強化する必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 未就学から学齢への切れ目のない支援のために、学校を始めとした様々な関係機関等との連携を強化する必要があります。特に5歳児検診を絡めた学校との共通理解をさらに深めます。また、訪問・巡回を通じて幼稚園・保育所等との更なる連携を図る必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		こども発達支援室での相談、機能訓練等及び保育所等への巡回訪問支援	こども発達支援室での相談、機能訓練等及び保育所等への巡回訪問支援	こども発達支援室での相談、機能訓練等及び保育所等への巡回訪問支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	36	36	46
	一般財源	20,902	20,810	30,851
事業費 (A)		20,938	20,846	30,897
執行率 (%)		96.98	98.92	88.46

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 専門支援スタッフの相談体制をより充実させるための配置について検討します。 教育機関との連携強化を目的に、情報共有・意見交換を図ります。また、保育所等訪問支援に加えて従来行っている巡回相談・園訪問を通してさらに幼稚園・保育所等との連携を強化します。
課長コメント きめ細かな対応を推進するため、サービス提供事業所や保育・教育機関との連携強化が必要と考えます。また、多様化するニーズの中での早期療育や保護者支援の充実を図ります。